

令和5年度第3回交野市総合教育会議 結果概要

日時 令和5年12月13日(水) 15:00～16:15

場所 本庁本館3階 第一委員会室

出席者 山本市長

北田教育長、村橋教育長職務代理者、長谷川教育委員、中山教育委員、般谷教育委員、
甲斐教育委員

事務局 良副市長

大湾教育次長(兼 教育総務室長)

教育総務室：堤下室長代理

学校教育部：和久田部長、内山部長、今堀次長

生涯学習推進部：西岡部長

企画財政部：苗村部長、阿佐次長

(秘書政策課) 松浦課長、奥田課長代理、木村

傍聴者 0名

- 案件**
1. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和6年度予算に係る意見交換について
 2. その他

資料 1. 令和6年度教育委員会 予算要求資料(主要事業)

【開会】

○山本市長

皆さま、こんにちは。本日は令和5年度第3回交野市総合教育会議を招集しましたところ、皆様におかれましてはご多様のところにもかかわらず、ご参集賜りましたこと深く感謝申し上げます。

今回、新たに甲斐教育委員に就任をお願いし、議会の議決も賜りました。おりひめ大学をはじめ、交野市の生涯学習に多大な貢献をされている方で、大変期待しているところでございます。

甲斐教育委員にご就任いただき、教育委員は6名となりますので、よろしく願いいたします。

本日の総合教育会議につきましては、時期的に、来年度の予算の準備作業を行っているところで、
す。ただし、準備作業ですので、今の段階で議会にどの予算を出すか出さないかということが決まっ
ているわけではございません。あくまで担当の部や所管において予算の取りまとめを行っており、
企画財政部に対して協議・調整を行っているところです。

それに合わせて教育委員の皆さまのご意見をお伺いするために招集したものです。

限られた時間ではございますが、有意義な会議としたいと考えております。よろしくお願いいたします
します。

それでは、ただいまより交野市総合教育会議を開催します。
まず、本日の会議につきまして、事務局より説明いたします。

○事務局

配布資料の確認

【案件協議】

○山本市長

それでは、本日の案件1「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和6年度予算に係る意見交換について」を議題といたします。

現在、教育委員会事務局において、令和6年度当初予算要求に向けた精査に取り組んでいるところ
です。

今後は、市長部局において予算案を作成のうえ、議会でご審議いただく流れとなりますが、教育に
関する予算につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、「地方公
共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務につ
いて定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきか
なければならない。」とされています。

これに基づき、本日の総合教育会議において、令和6年度当初予算案に関して教育委員の皆様か
らのご意見を頂戴したいと考えております。

なお、会議の時間に限りがあり、ここで詳細に予算内容をご説明するのは時間的にも困難ですの
で、本会議では、教育委員会として来年度の重点施策と考えているもの、力を入れていきたいと考
えているものを中心に、まず担当部署からその概要について説明をしてもらった後、委員皆様のご
意見を頂戴したいと思います。

それでは、資料に沿って担当より説明いたします。

○事務局

「資料1 令和6年度教育委員会 予算要求資料（主要事業）」に基づき説明

○山本市長

それでは、この件に関しまして、ご意見等がありましたらお願いします。

○般谷教育委員

小学校低学年の30人以下学級の編制の実施、大阪府で初めての事業をしていただけることになり、本当にありがとうございます。学校の方も大変喜び、誇りに思っておられると聞いております。

また、岩船小学校に通う児童に対して、登校班の安全を考え、道路の消えている白線を引いていただいていることについても、本当に感謝申し上げます。

青年の家のエレベーター工事のこと、長年の市民の願いが叶ったということで、本当にありがたいことになりました。感謝申し上げます。

1つ質問があり、今回の30人以下学級にあたり、机・椅子の入れ替えに際して、予算積算の内訳と実際の価格について教えていただけますでしょうか。

○山本市長

私が記憶している範囲で申しますと、まだ入札等実施はしておりませんが、今のところ、撤去費なども含めまして、おおよそ1台あたり2万円程度を想定しており、台数は5,6千人分程で計画しております。ただし、こういう入札は一般的に最低制限価格というものがないので、入札をしてどこまで落ちるのかは一概に分からず、半分くらいになるケースも事務用品ではあり得ます。市としてはみらい学園だけではなく、うまく単価を落として、全小中学生対象にしたいという考えで進めております。

○村橋教育長職務代理者

ご多用の中、総合教育会議の場を設定していただきましてありがとうございました。

今、事務局から説明があり、嬉しいと思った内容はいくつかあり、交通安全誘導員の配置や、今まで何年も手を付けられていなかったトイレ改修について、全面的に予算を計上していただいております。学校に行く度、必ず声がかかるのは「トイレなんとかしたいんです。」という切実な声でした。非常にありがたく感じております。

○山本市長

私といたしましても、イベント等に出席すると、児童、生徒から直接、小学校、中学校のトイレを綺麗にしてほしいと言われており、優先的に実施をいたしました。

長寿命化という考えでいうと、築40年を超えた建物の排水管、給水管は全部交換すべきだと思っています。長寿命化の一部として実施しますと、費用の3分の1は補助金が受けられて、バリアフリーが必要な多目的トイレについては半額の補助が受けられます。私としては、限られた財源の中で、トイレについても一定できる見込みがたちましたので、今回、各学校のトイレの大規模改修についても予算に盛り込めたという次第でございます。

○長谷川教育委員

今のトイレの話ですけれども、机・椅子の入れ替えとともに、子どもたちが毎日使うもの、毎日目にするものとして、すごく大きな効果があると思います。学習環境の改善という意味では、ここは本当によかったなと思います。

○山本市長

私の考えとしては、ここに出ている机・椅子、トイレ、LED、その他体育館のエアコンだけでは、まだ（仮称）交野みらい学園の設備に及ばないと思っておりますので、今後も、最低でも外壁の塗装、屋上防水までは、再来年度くらいを目途に計画を立てて予算をつけたいと思っています。ただし、予算にはできる限り国費を充てて、財政運営をしっかりとやりながら、子どもたちの学習環境については公平に、且つ、良いものを保障していきたいと思っております。

○甲斐教育委員

特にハード面に関して、みらい学園以外の学校に対する配慮が厚くて、子どもたちにとってすごくいいことだなと思います。自分が学生時代に、周りに新しい学校がどんどん建ってうらやましかったのですが、そこにすごく配慮をされているのはいいことだと思っています。

あと、交野の学力の向上も見えていて、ハードと一緒にソフトもすごく重要で、教育を軸に交野のまちづくりが出来るポテンシャルを感じ始めているので、その辺りもご相談できるといいのかなと思っています。

○山本市長

交野市は、財政課題の解決に向けた取組みの一環として、貯金の運用をしております、年間1億円以上の利息の収入が得られるようになっております。借金に関しましても、20年、30年といった長期で借りるのではなくて、借入期間を出来る限り短くしたり、過去の1%を超えている金利は繰り上げ返済することで、令和6年度当初には、大体6千万円程度の金利の削減ができます。

また、土地開発公社の借金も、今までは現金をそのまま返していましたが、今回、新たな取り組みとして、防災公園や防災倉庫を整備するという形であれば、残っている約50億円の土地開発公社の負債に関しましても、最大35億円は国から補助金としてもらえます。金利で得たお金と、金利の低下によるコスト削減で得たお金、土地開発公社がらみで補助金を受け取るというやり方を組み合わせ、財政上の制約は過去よりも相当程度改善する見込みです。年間と言えば3億円、4億円は改善する見込みがたちましたので、それらを財源として、こういったハード面の施策や、給食の無償化などコスト面の施策についても市として取り組んでいき、結果として、子育て世代の方に多く転入していただき、交野市全体の活性化に繋げていきたいと思っております。

○中山教育委員

交野の方々や生涯学習施設を利用するの方々のために、色々と考えていただいております。

小学校低学年の30人以下学級については、教員の数や支援員の数などの工夫も考えていただけたらと思います。

学校図書館の活用推進事業について、市長も読み書きが大事だと仰っていて、子どもの基礎力をしっかり付けることで、色々なことに対応したり応用したりできる力を付けることが大事だということをお考えだと思いますが、今の世の中は情報が多すぎて、自分で判断する力や考える力を身につけるのは難しいと思います。

今は、何でもタブレットで簡単に情報が出てきますが、それは自分の本当の知識とは言えないと思っています。学校図書館の活用では、図書館の本を手にとって調べて、色々なことに興味を持つことで、知識として脳に落とし込めるのかなと思います。

あと、数年前、コロナ前に本の森プロジェクトということで、私も関わらせていただいたのですが、コロナも落ち着いてきて、そちらの活動も復活させたいということで、教育委員会と図書館の方にも協力いただき、より広く本に触れあえるような企画を考えていきたいなという風に思っています。

学校図書館においては、やはり専門的な知識を持った方に常駐していただけるといいなと思います。司書さんの確保というのはなかなか大変かと思いますが、前向きに考えていただけたらうれしいです。

もう一つ、青年の家のエレベーター設置について、何年も前からずっと声があがっていましたが、実際は設置が難しいのではないかと、ほとんど皆さんが諦めていたところがある中で、来年設置されることについて、すごく喜んで下さっています。その設置工事期間の部屋の利用方法やエレベーターの設置場所、大きさなど、分かる範囲で教えて下さい。

○山本市長

私が答えられるところでは、30人以下学級に関して、本市では過去から35人以下学級をしており、これを実現するために講師の方を雇っておりました。しかし、文科省の方で小学校の35人以下学級を導入することになり、結果的に、大阪府から教員が配置されるようになりました。

本市におきましては、段階的に、来年度からまずは小学校1年生、その後は小学校2年生、3年生と30人以下学級を実施することで、現在、学校で働いてもらっている講師の方の働ける場は一定提供できまして、且つ、低学年の児童の皆さんによりきめ細かい教育が出来るようになると考えております。

続きまして、学校の図書館活用推進事業に関しましては、委員ご指摘のとおり、私といたしましては、基礎学力は重要であると考えています。単にタブレットを調べるだけ、もしくは、タブレットで

字を打ち込むだけでは、なかなか学力の定着に結びつかないのではないかと危惧しており、基礎学力向上としては非常に有意義なものであると考えております。

エレベーターの設置に関しまして、詳細につきましては担当の西岡より説明いたしますが、全体の方向性としては、エレベーター設置はしますが、青年の家の他の機能である教育委員会の所在地や、耐震性のない体育館をどうするのかに関しましては、令和7年度に第一中学校の跡地利用検討が具体化しますので、それまでに改めて精査したいと思っております。

○事務局

今回調査した結果、屋内設置で考えており、現時点では、図書館辺りの設置を想定しています。エレベーターの規模は市役所別館のエレベーター程度と聞いております。

○村橋教育長職務代理者

まずは、次世代の先端技術利活用推進事業ですが、年間を通じて自由に活用できるメタバース空間を設けることで、プログラミング学習、生徒会活動、姉妹都市交流、不登校支援等への活用が期待されます。先日、京阪沿線の学校に3校ほど訪問する機会があり、その中の1校では、クラスに2～3名の不登校の生徒がいるということでした。オンライン授業に加えて、メタバースで自分が作ったキャラクターを使って、自由に他者と話が出来るということで、随分効果を上げているといったこともあるので、ちょっと研究していただけたらと思います。

次に移動図書館車の更新について、移動車は改造費がかかり、とても高いものですが、助成金の活用をするのはいいなと思いました。図書館の空白地域を作らないという考え方に基づく移動図書館車というのは、非常に大切だと思っているので、考えていただけたらありがたいと思っています。

○山本市長

まず、メタバースのところでは、近年の交野市の学力テスト等拝見していると、小学生の家庭での勉強時間がアンケート上の数字ではやはり短いという状況があります。宿題が出てないから短いのか、それとも家庭学習という習慣ができていないのでそうなっているのかちょっと分からないですけれども、学力にも影響をあたえている可能性があります。まずやるべきこととしては、基礎学力のところ、家庭での学習習慣のところの対処が、優先度合いとしては高いのかなと考えている次第でございます。

移動図書館に関しましては、今回は約1千万円の補助金が見える可能性があり、それを前提とした予算の計上を考えています。必ず購入するというのではなく、宝くじの助成を受けられるのであれば購入するというところです。併せて、近年中古車の販売価格がそれなりに高く、先日も、約10年前に700万円で購入したパッカー車が約300万円で売却できましたので、本市といたしましては、約

半額程度の宝くじの助成をもらった上で、古くなったものを売却できれば財源になるので、十分に価値のある事業であると、現時点では考えています。

○長谷川教育委員

資料4ページの英語技能検定取得推進事業について、外国語教育が交野の教育の特色になればいいと考えています。特に英検については、高校受験の際などに優待もあったりして、取っておきたいものです。

各家庭の方針などにもよると思いますが、私事ですけれども、現に子どもが英検にチャレンジする良いきっかけを学校からもらった経緯もあります。もし、こういった補助が出るのであればいいなというのが私の考えです。

次に6ページの図書館です。学校図書館についてももちろん大事ですが、中学生になると部活もあり、図書室との距離感がとても遠い子どもが多いように見受けられます。

今回の赤ちゃんタイムの実施について、元から、赤ちゃんの声があっても何の気兼ねも無い社会であれば良いと思いますが、やはり気を遣う若い保護者も多いのは事実です。将来的には、別に常設の赤ちゃんエリアがあるような施設ができればいいなと思いますが、そうした気兼ねしてしまう保護者への配慮が為されるのであれば、きっかけとしていいのかなと思います。

○山本市長

英語に関しては、子どもの将来性を考えると、同じ能力であればやはり英語力が高い方がいいのは間違いないことだと思います。ただし、英検や資格は個人に帰属するものなので、原則として個人や保護者が負担するべきものだと考えています。そこに市民の税金を使うのは、慎重に判断しなければならないと考えています。

図書館について、本市は人口に対して図書館が十分に整備できていないと思っています。本年、倉治図書館についてはLED化することで、以前より環境は良くなったと思っていますが、まだまだだともっています。今後の方向性については、赤ちゃんタイムの実施もさることながら、最終的には、教育委員会を学校統廃合で得た敷地や建物を活用し、移転して、青年の家を規模の大きい図書館にしたいと考えています。その際には、子育て世帯の方々が気兼ねなく利用できる環境整備を合わせて進めていきたいと思っています。

○般谷教育委員

星の里いわふねについて、空調改修工事の前に指定管理者から話はなかったのかが知りたいです。

○山本市長

もともと星の里いわふねに関しては、エアコンは燃料で稼働していました。令和4年度に熱源を電気に変更し、その後の電気価格の高騰もあり、結果的に指定管理者の電気代の負担が重くなりましたので、直近で市が年間300万円程度の増額分を負担することとなりました。本来であれば、その部分についても新しい指定管理者と連携しておくべきだったと思います。

もう一点としましては、もし星の里いわふねが避難所に指定されていれば、緊急減災防災事業債の対象となっていたので、エアコンの更新費用の約7割については国費を充当することができたと思っていますので、今回の件は重く受け止めて、エアコン及び熱源の更新時の参考にしたいと思っています。

電気料金は最大出力で契約する必要があるため、エアコンを使わない月も、最大出力時に基づいて負担しなければならないというデメリットがあります。そのため、学校施設のエアコンについては、概ねガスを使っています。ガスの方が基本料金の負担は少ないですが、設備導入は高額のため、判断は難しいところもありますが、今後のエアコン整備についてはより慎重に検討していきたいと考えています。

今後は、エアコン設置はできるだけ避難所として整備することにより、整備費用の7割を国費で充当し、ランニング費用は、LED化により削減した電気代をエアコンの稼働費用に充てるという仕組みで進めていきたいと思っています。

○山本市長

他にご意見等はございませんか。

ないようでしたら、案件2「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和5年度予算に係る意見交換について」は以上といたします。

本日、案件として予定されていた議題については終了しましたが、その他として、私から5点、説明させていただきます。

【市長から説明】

1. 給食無償化について

来年1月から、小学6年生～中学3年生の4学年で実施します。今後、他の学年についても、財源の目途を付けながら、順次拡大していきます。

2. 学校の跡地活用について

(仮称)交野みらい学園の整備費用の約半分(45%)は補助金が受けられるという情報発信がされていましたが、公共施設等適正管理推進事業債という債権を利用する前提の話です。この事業債の

活用には条件があり、新築する学校の約16,000㎡以上の建物を除却する必要がありますが、そこについては説明がなされておりませんでした。

既に除却された交野小学校7,000㎡と、第一中学校7,000㎡を合わせても14,000㎡で、交野みらい小学校の一部も除却しなければいけない状況となっています。なお、取り壊し費用と跡地活用については、一切予算化されておらず、交野小学校の除却に約5億円の費用がかかっていますので、それ以上の費用が必要になると見込まれます。

私としては、学校の除却に際し、防災倉庫や防災公園の整備を絡めることで、除却費用の7割を国費で賄う方向で考えたいと思っています。

また、2025年大阪・関西万博におけるルクセンブルク大公国のパビリオンについて、交野市での再活用の打診があり、現在協議中です。受入れの候補地としては、第一中学校を検討しています。

3. 通学カバンに対する支援について

当初、再来年度の開始を想定して協議してきましたが、市がカバンを特定の業者から購入し、新小学校1年生に配るのは、地方自治法上問題があることがわかりました。

そのため、何らかの委員会を立ち上げて検討のうえ、カバンを指定し、指定カバンに対しては補助金を出すというスキームが必要ですので、次年度に改めて検討していただく方向で考えています。

4. プラネタリウムの設置と教育における活用について

プラネタリウムは15年間稼働しておらず、今の小学生や中学生は見たことがありません。まずは小学4年生が学校の授業の一環として見学に行く予定をしています。ただ、それより上の学年の子どもたちが見る機会が無くなってしまいますので、希望者については市が費用を負担して無料招待したいと考えています。

5. 小学校5年生の宿泊学習について

本件については、決定事項というわけでもなく、今後の検討となります。過去、小学5年生の宿泊学習に関しては交野市内の野外活動センターでキャンプをしておりましたが、現在、当該施設は閉鎖されています。閉鎖された当時、類似施設として星の里いわふねがあるという説明が議会でもされておりましたが、現状、小学5年生の宿泊学習については交野市内では行われていません。

私としては、来年度からではありませんが、できれば市内で宿泊学習を行ってほしいと思っています。市内で実施してもらうことに対し、市から補助金が出せないか検討したいと考えています。

以上が、私からの説明となります。この件に関し、ご意見等がありましたらよろしく願いいたします。

○長谷川教育委員

4番目のプラネタリウムも5番目の星の里いわふねの利用も、いずれも市内施設を活用するのは良いことだと思います。

3番目の通学カバンについては、いろいろなご家庭やいろいろな考え方がありますので、保護者等の意見をまずは聞くことが大切だと思います。

○山本市長

通学用カバンについては、次年度、しっかりと意見を聞きつつ、検討していきたいと考えています。

○村橋教育長職務代理者

野外活動センターについて、もともと舗装された道路がなく、車椅子の生徒などが上まで上がれないという状況がありました。予算をかけて整備した施設でもあったので、閉鎖せずにどうにか活用できないかと考えましたが、閉鎖の大きな要因としては、バス代の高騰により、市内の小中学校が使用しなくなったことでした。

当該施設を活用していた時は、地元ですので、何かあった時に保護者も対応しやすいということでも喜ばれていました。また、地元を知るという意味でも、市内施設を活用するという方針は良いと思います。ただ、各学校にそれを一方的に押し付けることはできませんので、市や教育委員会、学校等と一緒に考えていけたら良いと思います。

○山本市長

施設面で言うと、星の里いわふね近辺には星のブランコや植物園がある一方、設備としてシャワーしかないのはどうなのかといった声も聞きますので、教育現場の意見も取り入れて改善すべきところは改善しつつ、検討していきたいと思っています。

○中山教育委員

第一中学校とみらい小学校跡地については、地域のコミュニティ活動の場として活用できるように検討していただけるとありがたいです。

星の里いわふねのプラネタリウムについて、先日、見学に行きましたが、投影機が壊れているため、現在はプロジェクターで投影しています。指定管理者の方ともお話ししましたが、どうにか直せないか検討中とのことでした。

先日、私市駅前ではキサイチゲートというイベントが開催されましたが、こういったイベントを活用し、駅から星の里いわふねや星のブランコ、プラネタリウムなどの各施設に誘導できればいいのではないかと思います。

また、星の里いわふねには食事のできる食堂が無く、一日中滞在するのは難しいと感じています。私市駅前も小さなカフェはありますが、コンビニ等はないので、星の里いわふねに食事ができる場所があれば、人もたくさん来て、駅前の活性化にも繋がるのではないかと思います。

○山本市長

まず交野みらい小学校跡地の件について、当初は郡津小学校の移転も検討しておりましたが、国から、交野小学校・第一中学校・交野みらい小学校の区域に郡津小学校を追加するのは不可と言われ、実現できませんでした。別途、駅前住宅区長等からは、避難所としての機能が必ず必要と意見をいただいております。また、公園の整備についての意見もいただいております。グラウンドは残しつつ、地域の防災拠点かつ公園としての活用をしていきたいと考えています。今後、2月に梅が枝地区とのタウンミーティングも実施し、ご意見を伺いたいと思っています。

キサイチゲートについては、市からも京阪を支援しつつ、次年度も継続していきたいと考えています。星の里いわふねについては、今年度から管理者が星のブランコの管理者と同一となっており、より連携しやすくなっていますので、私市駅前を含め、地域の活性化に取り組んでいきたいと考えています。ただ、グリーンビレッジについては、市としても取得や活用について検討していきたいと考えておりますが、過去からの経緯もあり、なかなか進められていないところです。

今後も、新しい指定管理者と二人三脚で、プラネタリウムをはじめ、私市小学校敷地内にあるアスレチックの有効活用も含めて、より良い地域資源の活用を進めていきたいと思っております。

○山本市長

他にご意見等はございませんか。

それでは、これをもちまして、すべての案件について終了いたしましたので、本日の総合教育会議を終了いたします。

本日、教育委員の皆さまからお聞きした意見や要望も踏まえ、今後、次年度の予算編成を進めていきたいと考えております。

これまで、私も財源確保に取り組み、学校給食の無償化等を進めてまいりました。次年度からは低学年の30人以下学級も着手します。

市の財政状況は依然厳しいところであり、新たな取組みには財源確保が必要という問題もございます。すべての事業を要求どおり予算化できるものではありませんが、教育や子育て、将来世代に対する予算配分により、将来への投資とともに、本市の魅力向上にも繋げていきたいと考えております。

また、次年度には、本市の教育に関する総合的な施策の大綱である「交野市教育大綱」の改定作業を予定しています。この「教育大綱」の改定にあたっては、次回以降の総合教育会議において協議を進めていく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

教育委員の皆さまにおかれましては、引き続き、本市教育行政にご理解、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の総合教育会議を終了いたします。

皆さま、本日は誠にありがとうございました。

以上

本議事録は発言の要点をまとめているものであり、発言全てを記載したものではありません。